

平成28年度一般会計及び15の特別会計の決算と水道事業決算が大山町議会9月定例会で、4つの財産区特別会計が大山町財産区議会でそれぞれ認定されました。

一般会計の歳入決算額は118億7,311万円で、前年度比4億6,832万円(4.1%)の増となりました。寄附金、繰入金及び町債などが増加したことによるものです。

歳出の決算額は、110億7,945万円で、前年度比4億3,102万円(4.0%)の増となりました。主な要因は、名和クリーンセンター大規模修繕事業、大山中学校大規模改修事業、ふるさと納税寄附者増によるふるさと応援基金事業の増加などです。

町の歳入は地方交付税に大きく頼っており、地方交付税と国や県からの支出金、各種譲与税・交付金、町債を合わせた依存財源比率は74.4%と非常に大きなものとなっています。町税、ふるさと納税などの寄附金、諸収入、使用料及び手数料などといった自主財源比率を上げていくことが町の課題となっています。

一般会計
歳出

110億7,945万円

(前年度比 4億3,102万円の増)

